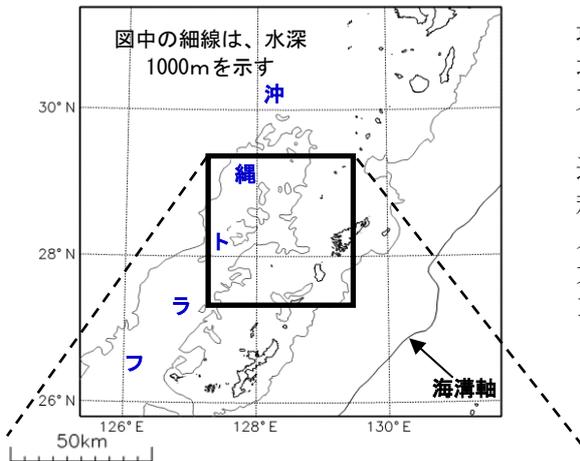


奄美大島北西沖の地震活動 （奄美大島の西約100kmの地震活動）

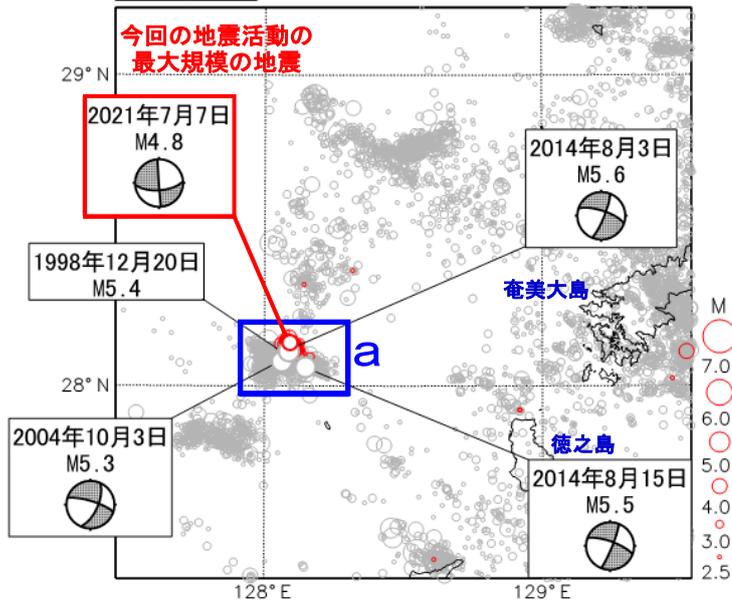
震央分布図
（1994年10月1日～2021年7月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 2.5$ ）
2021年7月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解



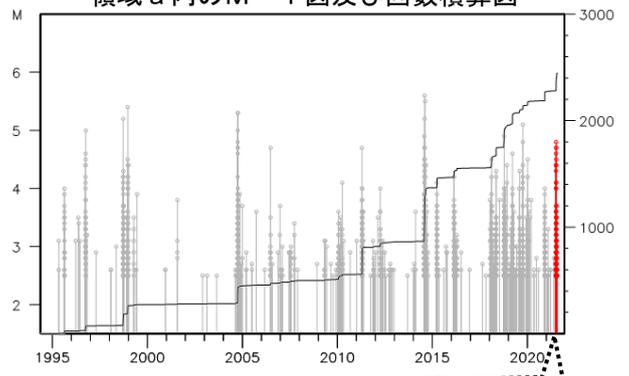
2021年7月4日22時頃から奄美大島北西沖（奄美大島の西約100km）で地震活動が活発となり、7月31日24時までに震度1以上を観測した地震が10回（震度2：5回、震度1：5回）発生した。今回の地震活動は、沖縄トラフ沿いの活動で、陸のプレート内で発生した。このうち、最大規模の地震は7月7日23時55分に発生したM4.8の地震（最大震度1）で、発震機構（CMT解）は北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）では、数年に一度M5クラスの地震を最大規模とするまとまった活動がある。このうち、2014年7月26日頃から8月下旬の地震活動では、M5.6の地震（最大震度3）を最大として、震度1以上を観測した地震が10回発生した。

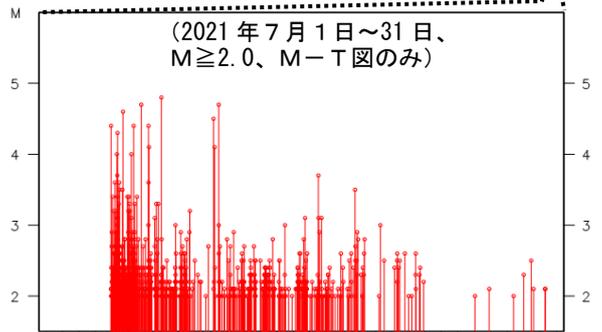
1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が3回発生している。



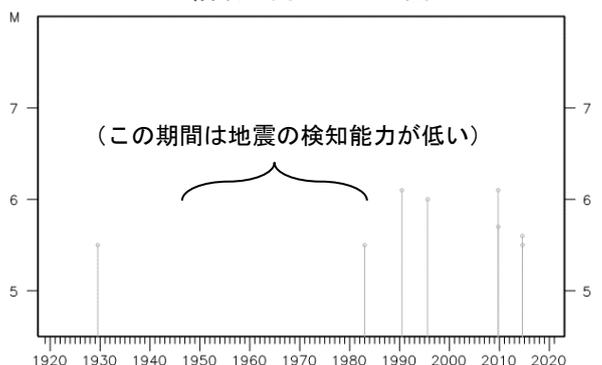
領域a内のM-T図及び回数積算図



（2021年7月1日～31日、 $M \geq 2.0$ 、M-T図のみ）



領域b内のM-T図



震央分布図
（1919年1月1日～2021年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$ ）

